

## RP16-W

- <系統> エポキシ変性アクリル樹脂エマルジョン系下塗材  
 <適応下地> コンクリート、モルタル、PCパネル、ALCパネル、スレート  
 <特長> 1) 水性であり、臭気が少ない。  
 2) 各種塗膜との密着性が良好。

<塗料性状>

項目		内容
1	荷姿	15kg、4Kg
2	色	白色
3	光沢	艶消し
4	比重(20℃)	1.0~1.1
5	加熱残分(%)	27
6	引火点	なし
7	消防法による危険物区分	なし
8	有機溶剤区分	エタノール1.5~2.5%含有
9	有害物表示	なし

<塗装基準>

- (1) 開缶後、水道水(井戸水は除く)を加えて攪拌し粘度調整して使用する。  
 (2) 希釈材 水道水(井戸水は除く)  
 (3) 標準使用量と膜厚

塗装方法	ウールローラー仕上げ	エアスプレー・エアレス
希釈率	5~15%	5~15%
標準使用量	0.1~0.2kg/m <sup>2</sup> /回X1回	0.15~0.25kg/m <sup>2</sup> /回X1回
平均膜厚	20~40μm	

※標準使用量は平滑面への塗布を想定しており、被塗物の形状、素地の状態、気象条件、希釈率により幅を生じ増減します。

<乾燥時間・塗装間隔>

		5℃	20℃	35℃
指触乾燥		6時間	1時間	50分
半硬化乾燥		8時間	2時間	1時間
塗装間隔	最短	24時間	16時間	16時間
	最長	12日間	12日間	7日間

※乾燥時間・塗装間隔は、塗布量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

<適用上塗> ECO-EX

<注意事項>

- ・下地は十分に乾燥させて下さい。(含水率10%以下、pH10以下)
- ・下地のレイタンス、エフロレッセンス、未硬化セメント粉、土砂、ゴミ、ホコリ、油脂類、離型剤はブラシがけ、サンダーがけ、高圧洗浄機による洗いなどにより完全に除去して下さい。
- ・旧塗膜をよく調査して、状況に応じたケレンにより、下地を整えてから塗装して下さい。
- ・下地の吸込みが多い場合は、2回塗りして下さい。
- ・塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上の場合は塗膜の乾燥過程で様々な欠陥を生じますので塗装を避けて下さい。
- ・降雨、降雪の恐れがある場合及び強風の時は塗装を避けて下さい。

<安全衛生上の注意>

1. 作業前
  - ・本品は業者専用品ですので塗料としての用途以外に使用しないで下さい。
  - ・指定された以外の材料と混合しないで下さい。
2. 作業場所
  - ・塗装中、乾燥中ともに換気をよくし、その後も塗料の臭気がなくなるまでは、時々換気をして下さい。
  - ・居住者、隣家、車両等へ塗料ミスト・臭い・蒸気等が飛散しない塗装方法を選択すると共に十分な養生を行なって下さい。
3. 作業時
  - ・取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスクをつけ、さらに保護めがね・頭巾・保護手袋・長袖の作業着・襟巻きタオル・前掛等を着用して下さい。
  - ・衣服等に付着した場合は、直ちにその汚れをよく落して下さい。
  - ・容器はみだりに転倒させ、落下させ、衝撃を加え、また引きずる等の粗暴な行為をしないで下さい。
  - ・塗料を出した際はその都度ふたをして下さい。
  - ・容器からこぼれた場合にはすべり、流出の危険がありますので直ちに拭き取って下さい。
  - ・取り扱い後は手洗い、うがい、鼻孔洗浄を十分に行なって下さい。
4. 保管時
  - ・容器は蓋をすると共に直射日光、高温(40℃以上)、高湿を避け火災、腐食、凍結(0℃以下)等の恐れのないところに保管して下さい
  - ・子供や部外者の出入りしないところに保管して下さい。
5. 廃棄時
  - ・廃塗料、廃容器、洗浄水、洗浄容器等は産業廃棄物として処理して下さい。  
(排水溝、地面、河川等に流さないで下さい)
6. 応急処置
  - ・目に入った場合には直ちに多量の清水で15分以上洗浄し、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい
  - ・皮膚に付着した場合は直ちに多量の石鹼水で洗い落とし、痛みまたは外観に異常のある場合は速やかに医師の診察を受けて下さい。
  - ・臭いを吸って気分が悪くなった時は空気の清浄なところで安静にし、必要に応じ医師の診察を受けて下さい。
  - ・誤って飲み込んだ時はできるだけ早く医師の診察を受けて下さい。

※ 詳しい内容が必要な場合は製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。